

放射線に関する Q & A

放射線は目に見えません。しかし正しく認識し、対処することで過剰な心配や、無用な被ばくを避けることができます。放射能対策室では定期的に、この Q & A を連載していきます。

監修＝相馬市健康対策
専門部会委員、相馬中
央病院
坪倉正治
作成＝放射能対策室



Q 1 もうすぐ花粉のシーズンですが、放射性物質が花粉と一緒に体内に入ることはありませんか？

A 1 3月に入り暖かくなるにつれて、県内でもスギ花粉の飛散量が増えます。花粉が鼻や目につくことで身体がアレルギー反応を起こし、鼻水(鼻炎)や目のかゆみ(結膜炎)になることを花粉症といいます。

花粉は身体に取り込むといっても、ごく微量しか体内に入りません。放射性セシウムを含むスギ花粉を吸入した場合の内部被ばく量は、浪江町で計測された平成27年度調査結果の最高値(1kgあたり8,800ベクレル)を基に計算したとしても、1時間あたり1マイクロシーベルトの1万分の1以下です。空気中にある花粉が非常に微量であり、身体にほとんど入らないからです。花粉は1年中飛び続けるわけではありませんが、年間の内部被ばく量を計算しても0.0000221ミリシーベルトとなり、空気中に元々ある自然の放射性物質

から受ける内部被ばく量(世界平均で年間1.26ミリシーベルト)の約6万分の1です。健康への影響を考えるレベルにないため、人によっては、鼻炎や結膜炎に対して花粉症対策は必要ですが、花粉についての放射性セシウムのことを考えて対策をとる必要はありません。

市は、内部被ばくを防ぐため、食品の放射性物質検査を実施し、また、身体の内部被ばく線量を測る検査(ホールボディカウンター)も実施しています。平成27年度(平成27年4月26日から平成28年3月31日まで)では、受診した4,767人のほとんどの方(4,753人 全体の99.7%)が検出限界値以下という結果であり、検出した方も、内部被ばくが問題になるレベルではありません。市全体として、内部被ばくは非常に低いレベルに抑えられています。

余程のことがない限り、日常生活で内部被ばくする状況にはもう無いと言えますが、継続的に検査を行い、確認を続けることも大切です。

●平成27年度ホールボディカウンター検査結果

	受診者数	不検出者数	検出者数	検出者内訳(単位:ベクレル/kg)					
				0～10	10～20	20～30	30～40	40～50	50以上
H27年度 (H27.4.26～H28.3.31)	4,767	4,753	14	11	1	1	0	0	1

出典:▽林野庁ホームページ ▽市ホームページ

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

自家消費野菜などの 放射性物質測定結果

●1月分 ▽測定件数 20件(内訳:野菜 8件、果
実 4件、魚 1件、山菜・キノコ類 2件、その他
5件) ▽基準値を超えた食品 0件

●相馬市で出荷制限などを受けている食品(2月6日
現在) ▽くさつてつ(ごごみ) ▽たけのこ ▽ふきの
とう(野生) ▽ぜんまい ▽たらの芽(野生) ▽原木し
いたけ(露地) ▽原木なめこ(露地) ▽野生きのこ ▽
こしあぶら ▽うど(野生) ▽牛(県の定める出荷・検
査方針に基づくものを除く)

※最新の情報は、福島復興ステーションホームページ
内の「農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング
結果【詳細】」でご確認ください。

[https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/mon-](https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/mon-kekka.html)

[kekka.html](https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/mon-kekka.html)

◎これまでの食品の検査結果(相馬市ホームページ)
[http://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/index-](http://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/index.html)

●放射性物質濃度を測定している施設

▽市農林水産課(☎372147) ▽玉野出張所(☎34
2001) ▽大野公民館(☎352326) ▽飯豊公民
館(☎352409) ▽八幡公民館(☎352408) ▽
日立木公民館(☎352901) ▽山上公民館(☎325
009) ▽磯部コミュニティセンター(☎335561)
▽大野台仮設サポートセンター(☎268910) ▽図
書館(☎372630) ▽愛育園(☎365591)

※あらかじめ電話予約をお願いします。

(土日祝日を除く9時から17時まで)

※刈敷田第1応急仮設集会所、北飯沼応急仮設東集
所、柚木高齢者等サポートセンターでの検査は終了
しました。

●問い合わせ先 放射能対策室(☎372270)